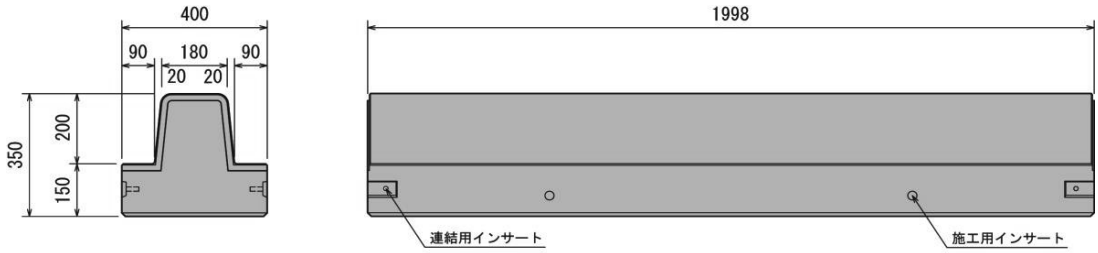
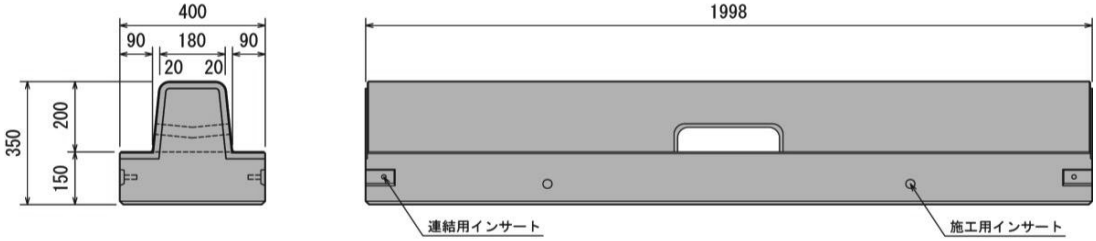
ベース付歩車境両面ブロック(愛知県仕様)



※施工用器具　スクリューハンガー(φ20）4点式

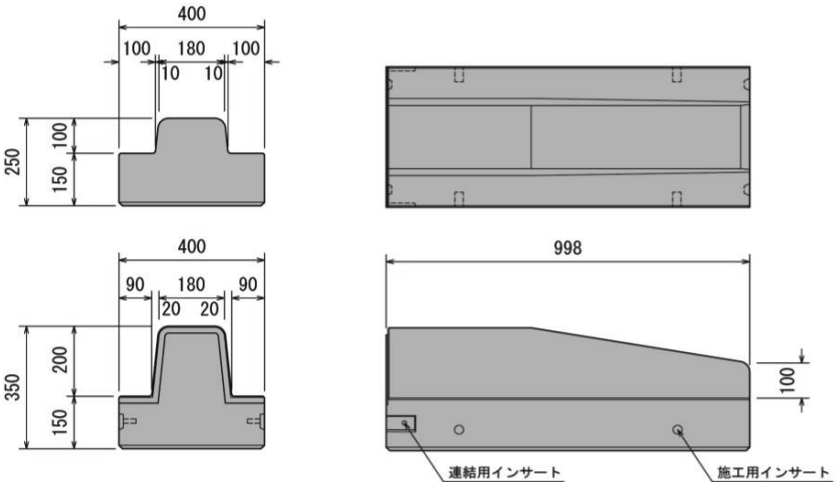
参考質量(kg)
466

水抜



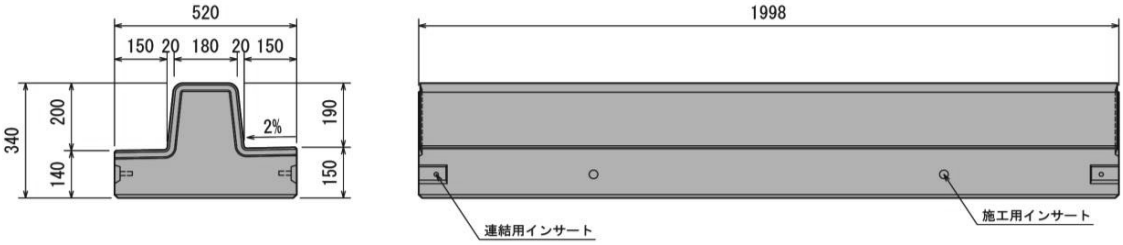
参考質量(kg)
456

すりつけ



参考質量(kg)
218

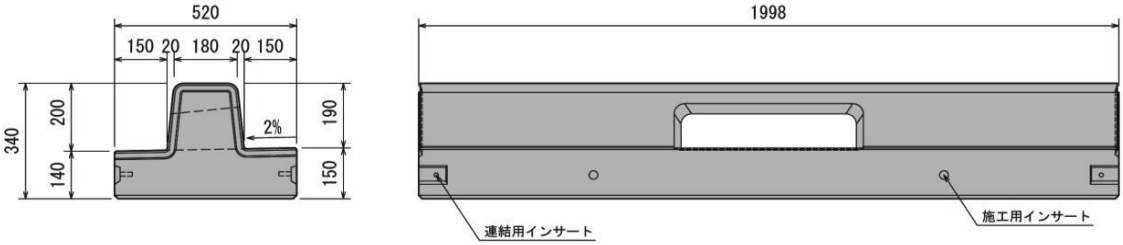
ベース付歩車境両面ブロック(岐阜県仕様)



※施工用器具　スクリューハンガー(φ20）4点式

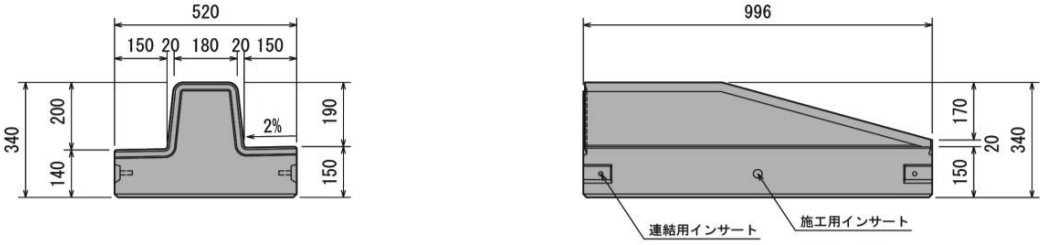
参考質量(kg)
526

水抜



参考質量(kg)
496

すりつけ右・左

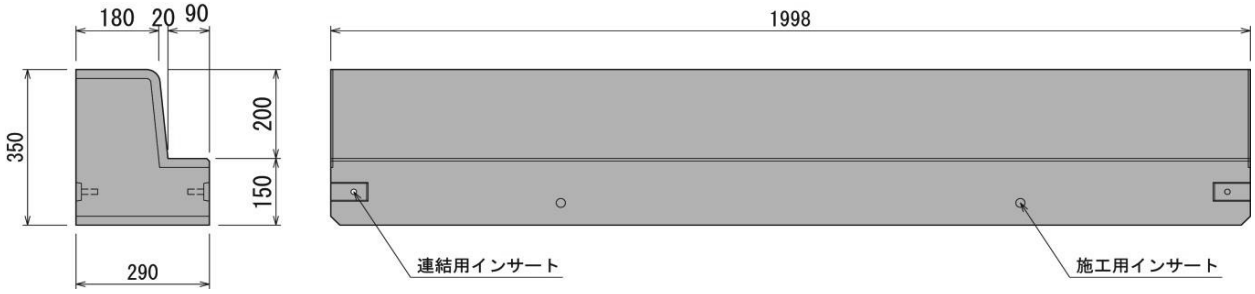


参考質量(kg)
239

乗り入れ

参考質量(kg)
186

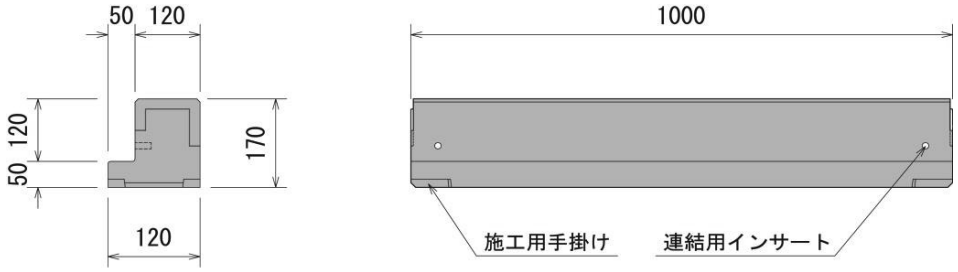
ベース付中央分離帯ブロック(愛知県仕様)



※施工用器具　スクリューハンガー(φ20）4点式

参考質量 (kg)
374

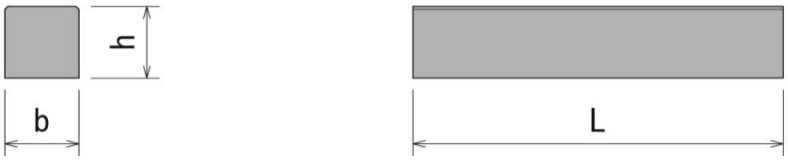
ベース付地先境界ブロック



参考質量 (kg)
54

地先境界ブロック

JIS A　5371　推奨仕様2-2

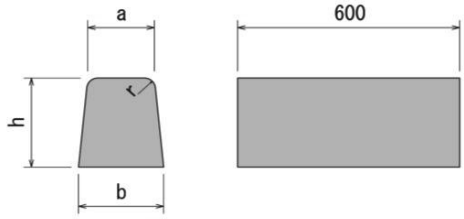


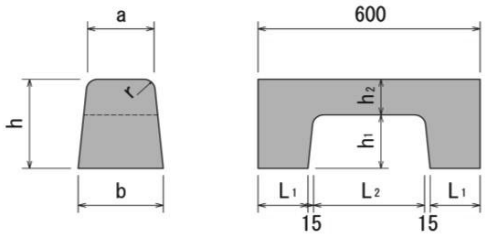
呼び		寸　法　(mm)			参考質量 (kg)
		a	h	L	
地先境界ブロック	A	120	120	600	20
	B	150	120	600	25
	C	150	150	600	31

両面歩車境ブロック

JIS A 5371 推奨仕様2-2

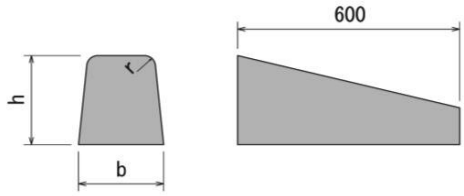
(基本)





(水抜)

(すりつけ)

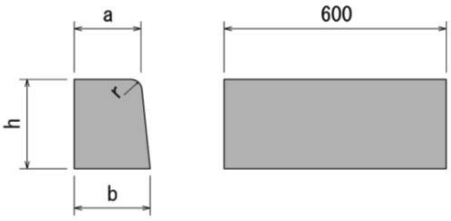


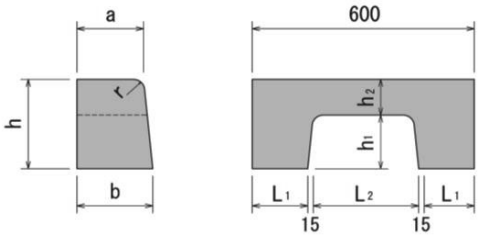
呼び		寸　法　(mm)								参考質量 (kg)
		a	b	h	h_1	h_2	r	L_1	L_2	
基本	A	150	190	200	—	—	20	—	—	48
	B	180	230	250	—	—	30	—	—	72
すりつけ型	A	150	190	200	—	—	20	—	—	36
	B	180	230	250	—	—	30	—	—	50
水抜	A	150	190	200	130	70	20	135	300	32
	B	180	230	250	150	100	30	135	300	49

片面歩車境ブロック

JIS A 5371 推奨仕様2-2

(基本)



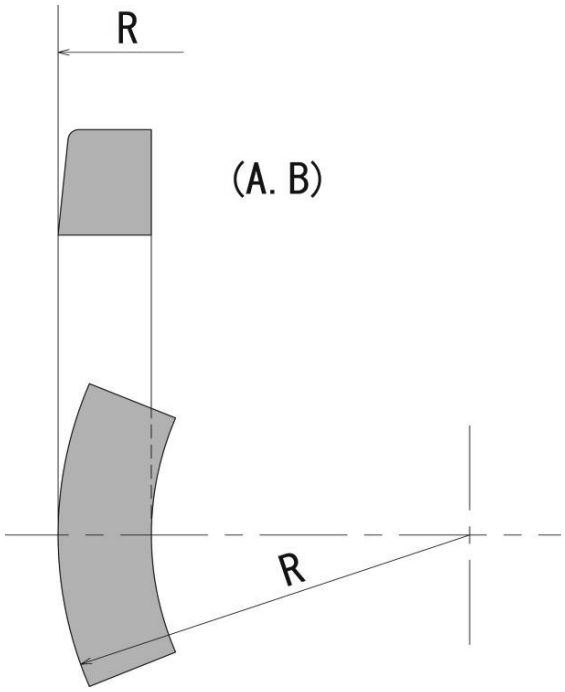


(水抜)

呼び		寸　法　(mm)								参考質量 (kg)
		a	b	h	h_1	h_2	r	L_1	L_2	
基本	A	150	170	200	—	—	20	—	—	44
	B	180	205	250	—	—	30	—	—	66
水抜	A	150	170	200	100	100	20	150	270	35
	B	180	205	250	150	100	30	150	270	48

※歩道の縦断勾配を５％以下に保つため、すりつけには両面タイプを使用してください。

片面歩車境ブロック曲り(外R)

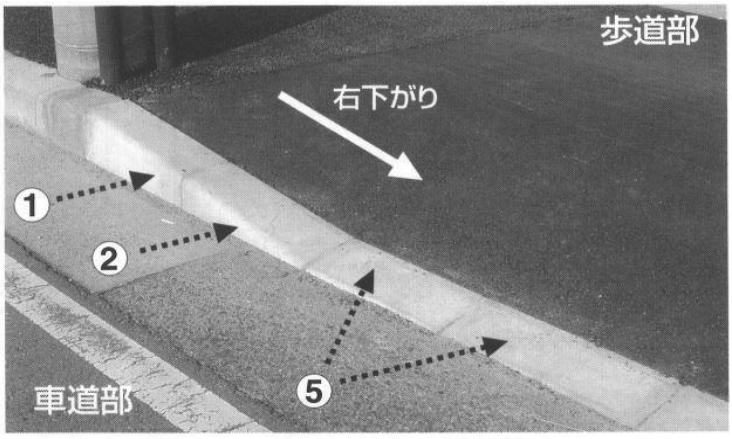


曲線(R) 使用個数

R	中心角90°の場合
0.75	2個
1.2	3個
2.0	5個
3.0	8個
4.0	10個

※Rブロックの長さは目地を10mmとして
整数で中心角が90°となるように調整
してあります。(約600mm)

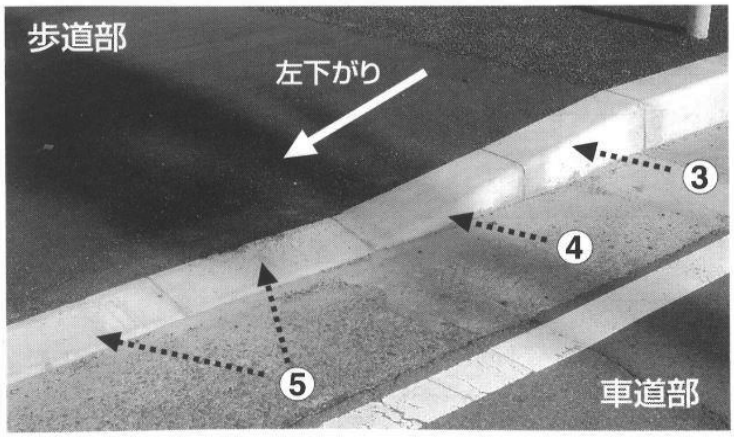
段差のある乗り入れ部のB種片面ブロック



①右2段落し（大）

②右2段落し（小）

⑤マウントアップブロック



③左2段落し（大）

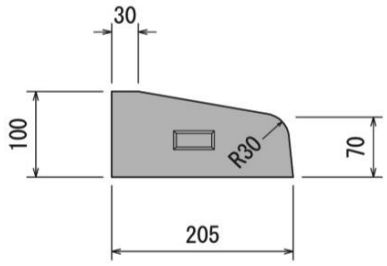
④左2段落し（小）

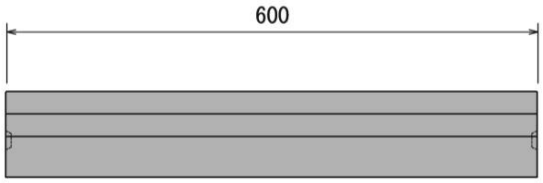
⑤マウントアップブロック

※道路設計要領では、段差5cmを標準としたセミフラット方式が推奨され、両面ブロックが用いられます。
横断歩道では車椅子に配慮した境界ブロックEが用いられます。

マウントアップブロック(車両乗り入れ部に使用)

道路設計要領準拠

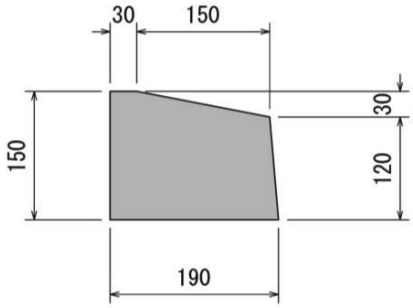


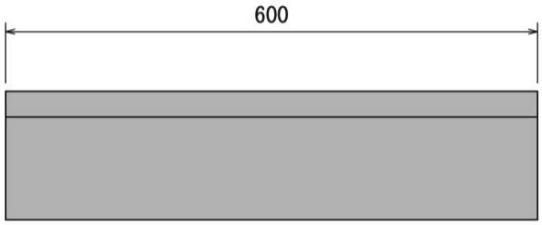


呼び	参考質量(kg)
マウントアップブロック	24

歩車境ブロックＥ (車椅子を想定した横断歩道部に使用)

名古屋市標準

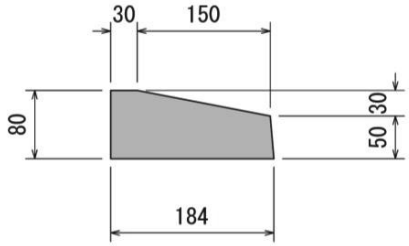


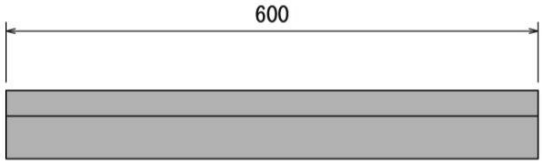


呼び	参考質量(kg)
歩車境ブロックＥ	38
〃　曲り（3Ｒ、4Ｒ、5Ｒ）	38

歩車境ブロック（Ｈ＝80）

ＳＤ楕円側溝など管渠型側溝との組み合わせに使用します。





呼び	参考質量(kg)
歩車境ブロックＥ　Ｈ＝80	21
〃　曲り（3Ｒ、4Ｒ、5Ｒ）	21